書類 番号	22

区連会 10 月定例会説明資料
令和７年 １０ 月 ２０ 日
みどり環境局
戦略企画課
財政局税務課

横浜みどりアップ計画[2024-2028]1年目の実績報告について

1　事業の趣旨

横浜みどりアップ計画につきましては、2009 年度から、横浜みどり税を財源の一部として活用させていただきながら、緑の保全・創出に向けた様々な事業・取組を推進しています。

2024 年４月からは４期目となる新たな５か年計画[2024-2028]に取り組んでいます。

このたび、１年目の 2024 年度を振り返り、取組の成果をまとめたリーフレットを作成しましたのでご報告いたします。

2　お願いしたいこと

【区連長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3　配布資料

（１） 横浜みどりアップ計画[2024-2028]2024 年度の実績概要リーフレット

（２） １年目（2024 年度）の区別実績

（３） 「横浜みどり税」の説明チラシ

【問合せ】
横浜みどりアップ計画の広報に関すること
みどり環境局戦略企画課　TEL：671-2712　FAX：550-4093

横浜みどり税に関すること
財政局税務課　TEL：671-2253　FAX：641-2775

横浜 みどりアップ計画

［2024-2028］

2024（令和6）年度の実績概要

緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、2009年から
「横浜みどり税」を財源の一部として活用しながら「横浜みどりアップ計画」を進めています。
このリーフレットは、2024（令和 6）年度に実施した事業の実績を概要としてまとめています。

横浜みどりアップ計画

※表内（ ）内数値は、5か年目標数値の1か年です。

市民とともに次世代につなぐ森を育む

柱1

森が守られています

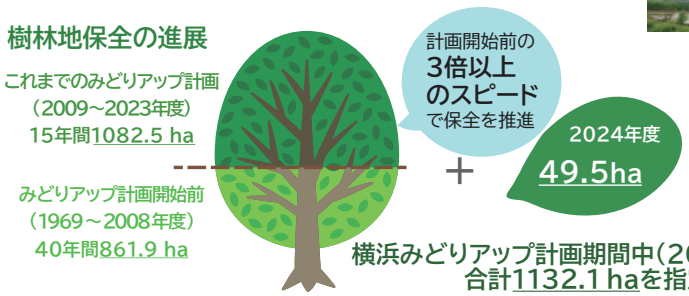
●目標（36ha）を上回る面積の森を新たに保全しました。また、必要に応じて市で買取りを行い、残された大切な緑地を永続的に守っています。

円海山近郊緑地特別保全地区（磯子区）

羽沢町具行特別緑地保全地区（神奈川区）

	緑地保全制度による新規指定	市による買取り	保全した樹林地の整備
2024年度実績	49.5ha	7.2ha	推進
5か年の目標	180ha（36ha）	100ha［想定］（20ha［想定］）	推進

緑地保全制度による樹林地の指定面積の推移



横浜みどりアップ計画期間中（2009～2024）に合計1132.1 haを指定

※端数処理により、面積の合計が一致しません。

森の手入れがされ、育まれています

●市民の森愛護会などと連携して、地域の特性を活かしつつ森を保全・管理する計画に沿って、森づくりを行いました。また、維持管理にお困りの所有者に対して助成を行いました。

	森の維持管理	維持管理の助成
2024年度実績	推進	134件
5か年の目標	推進	750件（150件）

市民と連携して森づくりを進めました

上菅田町金草沢東特別緑地保全地区（保土ケ谷区）

維持管理の助成を行った樹林地（南区）

作業前 → 作業後

森を知る・関わる・つながる機会が広がっています

●森づくりを担う人材の育成として、森づくり体験会や研修を行いました。市民が森に関わるきっかけづくりとして、市内大学などと連携したイベント開催等を行いました。

森づくり体験会（戸塚区）

森のネイチャーゲーム（瀬谷区）

	森づくりを担う人材の育成	森づくり活動団体への支援	市内大学や関係団体等との連携や区主催による地域の森でのイベントの実施	学校と連携したきっかけづくり
2024年度実績	10回	36団体	115回	推進
5か年の目標	50回（10回）	175団体（35団体）	180回（36回）	推進

暮らしを豊かにするみどりと共に

緑は、わたしたちの暮らしに潤いを与えるだけでなく、多様な機能を持っています。緑を守り・つくり・育む、横浜みどりアップ計画の取組は、その機能を活用しながら地球温暖化など社会の様々な課題の解決にもつながっています。

市民の森とは・・・

横浜市では1971年に全国に先駆けて、緑地を保存しながら、その緑地を市民の散策や憩いの場として公開する「市民の森」制度を創設しました。

横浜みどりアップ計画開始から16か所増え、現在43か所が開園しています。市民の森では、愛護会や森づくり活動団体など多くのボランティアが、草刈り、間伐、生きもの調査や環境教育といった「良好な森をつくる活動」を行っています。

上川井市民の森（旭区）

緑の多様な機能

- 防災・減災
- 暑さを和らげる
- 多様な生き物のすみか
- 地産地消
- 美しい景観
- 環境教育・農体験
- 街の賑わい・魅力
- 地域のコミュニティ　など

そして ★健康づくり・レクリエーション

市民アンケート調査では、今後「最もおこなってみたい取組」として

森の散策・ウォーキングが1位に

横浜の身近な緑を楽しもう！

「市民の森」へ行ってみよう！

市民の森 横浜　検索

市民が身近に農を感じる場をつくる

柱2

水田・農地が保全されています

●水田や農地を維持するために支援を行い、多様な機能をもつ良好な農景観を保全しました。

	水田保全面積	遊休農地の復元支援
2024年度実績	112.5ha	0.89ha
5か年の目標	115ha	3.0ha(0.6ha)

支援により荒れた農地を復元しました

田谷町(栄区)

遊休農地の復元(緑区)

復元前 → 復元後

農とふれあう機会が増えています

●市民が気軽に楽しめる収穫体験農園の開設支援や、横浜ふるさと村、恵みの里での農体験教室など、農とふれあう場づくりを行いました。マルシェや直売所への開設支援や「はまふぅどコンシェルジュ」によるイベント開催等の地産地消の取組を通じて、農とふれあう機会を増やしました。

市民が横浜の農畜産物にふれる機会が増えています

収穫体験農園ナシ狩り(緑区)

柴シーサイド恵みの里じゃがいも掘り(金沢区)

みなとみらい農家朝市(西区)

はまふぅどコンシェルジュ育成講座(緑区)

	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	横浜ふるさと村、恵みの里での農体験教室などの実施	直売所・青空市等の支援	市民や企業等との地産地消の連携
2024年度実績	3.38ha	119回	62件	15件
5か年の目標	19.5ha(3.9ha)	450回(90回)	285件(57件)	75件(15件)

市民が実感できる緑や花をつくる

柱3

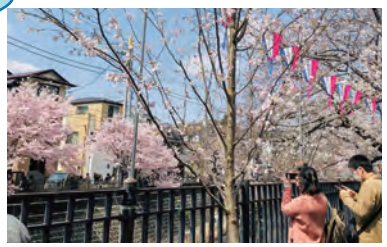
まちなかでの緑が創出されています

●緑の少ない市街地でも身近に緑や花を実感できるよう、緑豊かな公園を整備しました。地域で愛されている桜並木の再生など街路樹による良好な景観づくりを進めました。

	シンボル的な緑の創出	街路樹による良好な景観づくり
2024年度実績	緑の創出 3か所	18区で推進
5か年の目標	緑の創出 5か所	18区で推進

2024年7月に開園しました

北寺尾六丁目サムエル公園(鶴見区)



大岡川プロムナードの並木の再生(南区)

緑や花があふれる地域づくりの支援が行われています

●植栽や花壇の整備への助成、アドバイザー派遣などにより、地域で取り組む緑のまちづくりを支援しました。オープンガーデンをはじめ、緑や花を通した地域のコミュニケーションの活性化を図りました。また校庭や園庭の芝生化や植樹、生きもののすみかとなるビオトープなど、子どもを育む空間での緑の創出を行いました。

港北オープンガーデン(港北区)

山田小学校ビオトープ整備(都筑区)

	地域緑のまちづくり	緑や花を身近に感じる各区の取組	人生記念樹の配布	子どもを育む空間での緑の創出
2024年度実績	7地区	18区で推進	6,915本	28か所
5か年の目標	35地区(7地区)	18区で推進	40,000本(8,000本)	100か所(20か所)

緑や花で賑わいの空間がつくられています

●山下公園や日本大通りなど都心臨海部等で緑や花による魅力ある空間づくりを進めました。

	都心臨海部等の緑化による魅力ある空間づくり
2024年度実績	推　進
5か年の目標	推　進

山下公園(中区)

日本大通り(中区)

広報の活動

横浜みどりアップ計画の取組と成果を多くの皆さまに知っていただくために、イベントへの出展や広報紙への記事掲載、SNSなど様々な手法を用いた広報を展開しました。

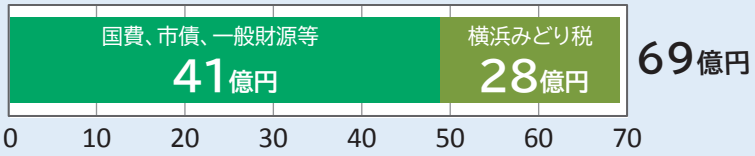
みどりアップのイベントや体験スポット、「よこはまこどもみどりアップ」についてはこちらをご覧ください。

デジタルサイネージでのPR画像放映(関内駅北口)

よこはまこどもみどりアップ

事業費と横浜みどり税

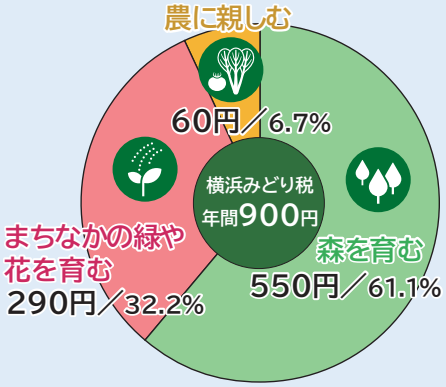
●1か年(2024年度)の事業費(うち横浜みどり税)



横浜みどり税の課税方法

【個人】市民税の均等割に年間900円を上乗せ
※所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方を除く
【法人】市民税の年間均等割額の9%相当額を上乗せ

●一人当たりの横浜みどり税の使いみち



●横浜みどり税の使いみち

使いみち① 樹林地・農地の確実な担保
- 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り
- 水田の保全　など

使いみち② 身近な緑化の推進
- 地域緑のまちづくり
- 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり　など

使いみち③ 維持管理の充実によるみどりの質の向上
- 森の多様な機能に着目した森づくりの推進
- 街路樹による良好な景観づくり　など

使いみち④ ボランティアなど市民参画の促進につながる事業
- 森づくりを担う人材の育成
- 収穫体験農園の開設支援　など

寺家町での水田の保全(青葉区)

野庭団地での花壇の手入れ(港南区)

古橋市民の森における良好な森の育成(泉区)

自然観察講習会(保土ケ谷区)

横浜みどりアップ計画市民推進会議の活動

横浜みどりアップ計画市民推進会議は、公募市民や学識経験者などから構成されている組織です。取組の検証や現地視察を踏まえ、評価・提案を報告書にまとめているほか、市民目線での情報発信を行っています。

取組の現地レポートはこちら

実績報告書は、市ウェブページをご覧ください。区ごとの実績もご覧いただけます。

横浜みどりアップ計画　検索

横浜みどりアップ 葉っぴー

お問合せ

「横浜みどりアップ計画」の広報について
みどり環境局戦略企画課 ---------- TEL 045-671-2712　FAX 045-550-4093

「横浜みどり税」について
【個人市民税】各区区役所税務課または財政局税務課 -- TEL 045-671-2253　FAX 045-641-2775
【法人市民税】財政局法人課税課 ---------- TEL 045-671-4481　FAX 045-210-0481

VEGETABLE OIL INK
一部に植物油インキを使用しています
リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

公式マスコットキャラクター　トゥンクトゥンク

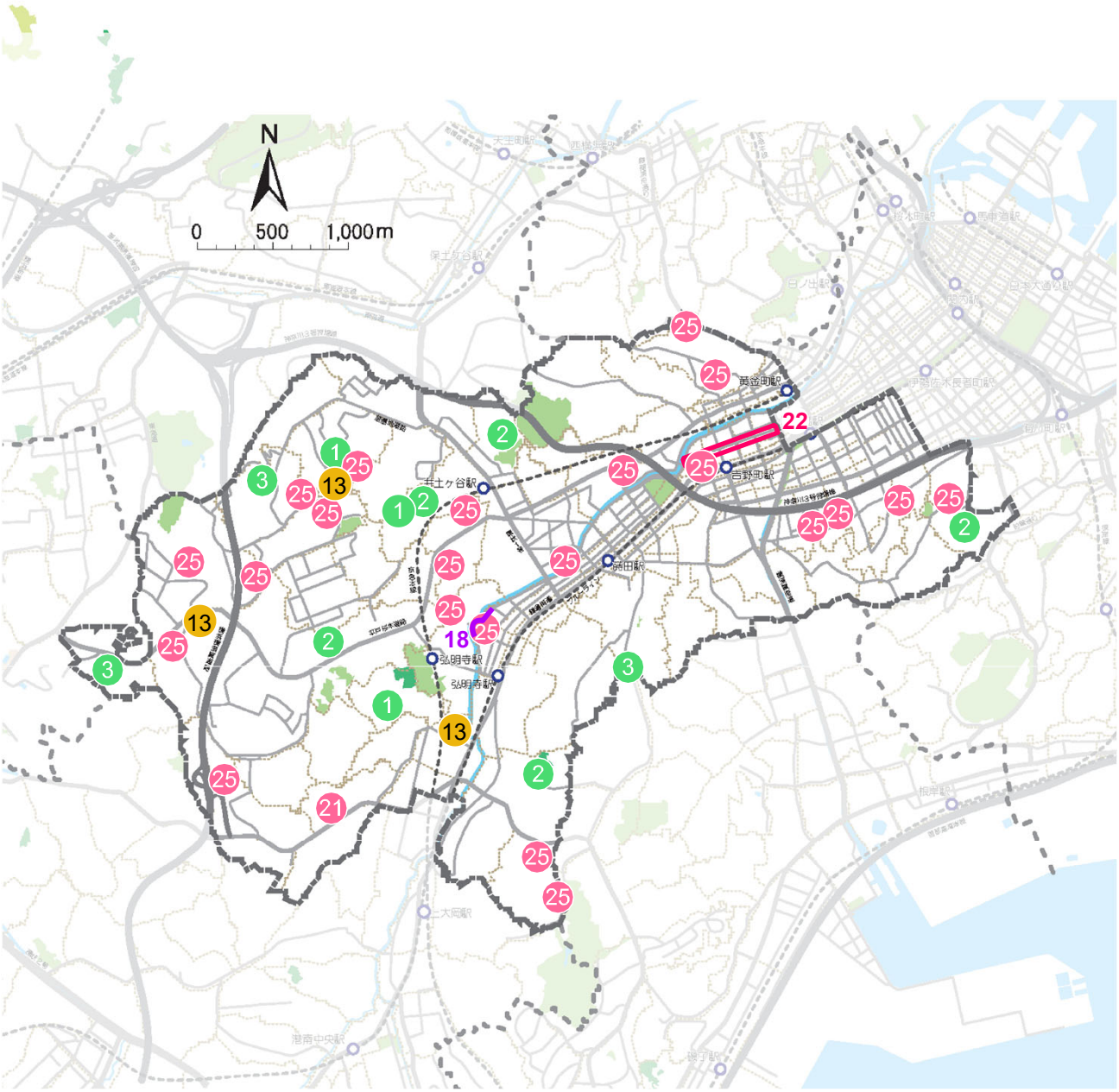
GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN
2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

©Expo 2027

第4章　各区の実績

・各区における実績マップに示されている取組の場所は、実際の位置を正確に示すものではなく、おおよその目安としてご覧ください。
・市域全体から広く参加者を募ったイベントや講座など、全市的に効果が及ぶものは各区の実績には含めていません。

南区における実績



凡例

- 柱1 次世代につなぐ森を育む
- 柱2 農を感じる場をつくる
- 柱3 実感できる緑や花をつくる

※〇の中の番号は、取組番号を示します

- 8 取組8 水田の保全
- 18 取組18 並木の再生（街路樹による良好な景観づくり）
- 22 取組22 地域緑のまちづくり

- 特別緑地保全地区
- 市民の森・ふれあいの樹林
- 公園緑地
- 農業専用地区
- 主な道路
- 高速道路
- 鉄道・鉄道駅

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

新規指定　緑地保存地区　永田北二丁目

取組3 指定した樹林地における維持管理の支援

六ツ川四丁目

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

取組13 市民が農を楽しみ支援する取組の推進

農のコーディネーター派遣
永田中学校

取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

地域の花いっぱいにつながる取組
花苗の配布　山ノ下公園

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

取組18 街路樹による良好な景観づくり

並木の再生　大岡川プロムナード（整備中）
サクラ（ジンダイアケボノ）

取組24 人生記念樹の配布

南区庁舎

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

●取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

・緑地保全制度による新規指定

緑地保存地区　0.31ha
永田北二丁目

・市による買取り

公園樹林部等　41㎡
永田東緑地管理用地

・保全した樹林地の整備

1か所　中里三丁目特別緑地保全地区

●取組2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

・森の維持管理

樹林地　2か所
大岡三丁目緑地／永田東緑地

公園　3か所
唐沢公園／南太田四丁目公園／六ツ川中央公園

●取組3 指定した樹林地における維持管理の支援

・維持管理の助成

3か所　永田台／蒔田町／六ツ川四丁目

●取組6 森に関わるきっかけづくり

・市内大学や関連団体などとの連携や区主催による地域の森でのイベントの実施

3回　各種イベント（3回）

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

●取組13 市民が農を楽しみ支援する取組の推進

・市民が農を楽しみ支援する取組の推進

コーディネーター派遣　3回
永田中学校／南小学校／六つ川西小学校

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

●取組18 街路樹による良好な景観づくり

・街路樹による良好な景観づくり

良好な維持管理　569本
永楽町一丁目通り・永真北通り・永真仲通り／鎌倉街道ほか

並木の再生　1路線
大岡川プロムナード※整備中・サクラ（ジンダイアケボノ）

●取組21 名木古木の保存

・名木古木の保存

維持管理の助成　2件
別所二丁目（2件）

●取組22 地域緑のまちづくり

・地域緑のまちづくり

継続支援　1地区
お三の宮通り周辺地区

●取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

・緑や花を身近に感じる各区の取組

各区の取組
身近な公園の魅力アップ

身近な公共施設での緑の育成　1か所
南区庁舎

地域の花いっぱいにつながる取組
球根の配布（東橋公園など83か所）／花苗の配布（大谷戸公園など5か所）／堆肥の配布（東橋公園など57か所）

●取組24 人生記念樹の配布

・人生記念樹の配布

222本

●取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

緑の創出　4か所
石川小学校／井土ケ谷小学校／太田小学校／藤の木中学校

緑の育成　18か所
井土ケ谷保育園／しろばら保育園／石川小学校／井土ケ谷小学校／大岡小学校／太田小学校／中村小学校／永田小学校／永田台小学校／日枝小学校／藤の木小学校／別所小学校／南太田小学校／六つ川小学校／六つ川西小学校／南中学校／永田中学校／六ツ川中学校

よこはまの緑を
未来を担う
子どもたちのために

暮らしを支え、豊かにする緑を未来に残すために、
横浜市は、市民・事業者の皆様に「横浜みどり税」をご負担いただき、
緑をまもり、つくり、育む「横浜みどりアップ計画」を進めています。

横浜みどり税について

横浜みどり税の税額

個人市民税均等割に年間 **900円** を上乗せ

※法人の場合は、年間均等割額の9%相当額を上乗せ

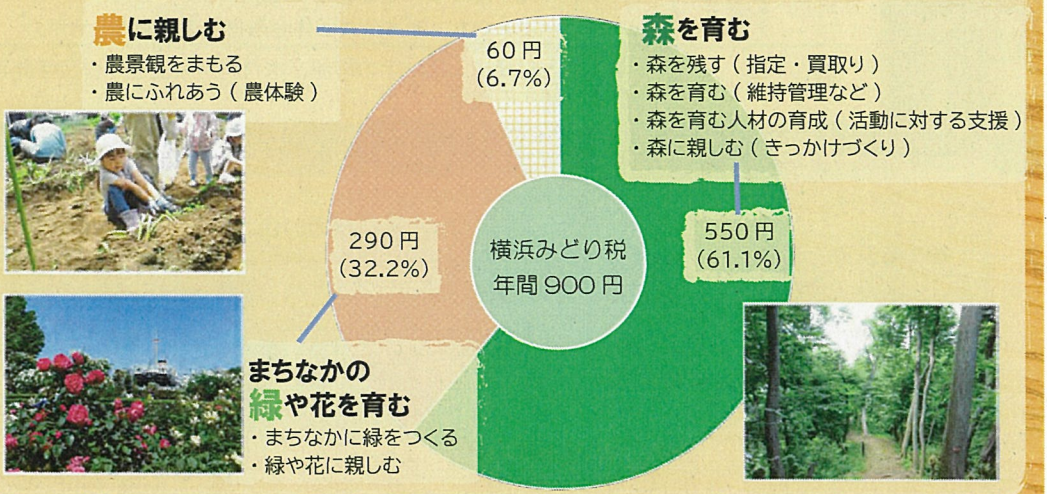
※課税年度は、令和10年度までです。

横浜みどり税の使途

「横浜みどりアップ計画」のうち、下記の横浜みどり税の使途に該当する事業へ横浜みどり税を充当します。

- 樹林地・農地の確実な担保
- 身近な緑化の推進
- 維持管理の充実による みどりの質の向上
- ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

横浜みどり税（年間900円）の使いみち



横浜みどりアップ計画［2024−2028］

横浜みどりアップ計画

計画の理念　みんなで育む　みどり豊かな美しい街　横浜

5か年の目標

・緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します
・地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます
・市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

みどり税を活用した取組

市民とともに次世代につなぐ森を育む

5か年の主な取組

- 樹林地の新規指定と買入れ申し出への対応
- 指定樹林地への維持管理支援
- 森に親しむきっかけづくり

市民が身近に農を感じる場をつくる

5か年の主な取組

- 水田保全への支援
- 農園の開設など、農とふれあう機会の全市的な展開

市民が実感できる緑や花をつくる

5か年の主な取組

- まちなかでの緑の創出や街路樹等による景観づくり
- 地域での緑や花の取組支援
- 子どもを育む空間での緑の創出・育成

市民・事業者の皆様に取組の意義や成果、緑がもたらす効果をわかりやすく伝えることで、取組への共感と、緑のある暮らしの実感につながる**広報**を展開

森林環境税（国税）と横浜みどり税

Q　国の森林環境税と横浜みどり税はどう違うの？

A　目的と使いみちが異なります。

森林環境税は、林業が成り立たない地方の山間部の森林整備や、国産木材の利用促進を主な目的として創設されました。横浜市では、木材利用の促進を図るため、学校施設や公園などの市民利用施設の木材利用工事に活用しています。

横浜みどり税は、市内の緑の保全・創造を目的としたものであり、樹林地の買い取りや、まちなかでの緑の創出などに活用しています。森林環境税と横浜みどり税は、趣旨と使いみちが異なります。

●森林環境税（国税）・森林環境譲与税について

趣旨（目的）	わが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るための地方財源を安定的に確保するため
課税手法・税率	年間 1,000 円を個人住民税と併せて賦課徴収
課税期間	令和６年度から
市町村への譲与	国が令和元年度から一定の基準で 譲与 （令和5年度までは、 地方公共団体金融機関の準備金を活用）
使いみち	間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用

※このほか、神奈川県では、水源環境保全・再生のために、個人県民税に対する超過課税を実施しています。

【お問い合わせ】

●「横浜みどり税」について
▶区役所税務課　または　財政局税務課　電話：045-671-2253　FAX：045-641-2775

●「横浜みどりアップ計画[2024−2028]」について
▶みどり環境局戦略企画課　電話：045-671-4214　FAX：045-550-4093

令和６年４月　横浜市財政局税務課